

専門図書室からのお知らせ

福岡市市民福祉プラザ（ふくふくプラザ）2階の『福祉図書・情報室』です。

9月21日はアルツハイマーデー、そして9月はアルツハイマー月間です。アルツハイマー、認知症についての理解を深め、認知症のような症状の方が困っているときは、ちょっとした手助けができるようになるといいですね。誰もが罹患する可能性がある、認知症。認知症の人やその家族が安心して暮らせる社会の実現に向けて、考えてみませんか？今回は、アルツハイマー、認知症についての資料を紹介します。

・『まるごとわかる！認知症』

認知症は早期に診断・鑑別を行い、適切な対応をすることが求められる。認知症についての基礎知識、アルツハイマー病をはじめとする認知症の原因疾患、BPSD（行動・心理症状）とその対処法について解説。図表やイラストがたくさん使用されており、わかりやすい一冊。

羽生 春夫・櫻井 博文 著 南山堂（2020）

・『認知症コーチング 私たちのフリースタイル・ケア』

どう接したらいいの？認知症の人との円滑で生き生きとしたコミュニケーション術を伝授。各認知症の症状、特徴、考え方、認知症がある人の家族とのコミュニケーションのとり方、関わり方がスムーズになる方法、ケアする側のメンタルなどについても解説。

鯨岡 栄一郎 著 ともあ 編集 ともあ（2020）

・『アルツハイマー病のことがわかる本』

「アルツハイマー病」と「認知症」は同じもの？それぞれの病気を紹介。アルツハイマー病は、長い長い時間をかけて進んでいく病気。適切な対応を続けることで、進み方はさらにゆっくりになることが期待される。認知症の発症・進行を防ぐ最新知識と暮らし方を紹介。

新井 平伊 監修 講談社（2020）

・『認知症ケアの達人をめざす

～予兆に気づきBPSDを予防して効果を見える化しよう～』

認知症の行動・心理症状（BPSD）の予防に向けて、予兆のとらえ方や必須となる考え方・知識を解説。様々な局面に柔軟に対応するケアの力を身につけることができる。認知症の行動・心理症状質問票（BPSD+Q）等も掲載。

山口 晴保 著 協同医書出版社（2021）

